



若宮大路北ゾーン

■特性

- ・鎌倉駅から鶴岡八幡宮に続く、古都鎌倉の中心的市街地。
- ・観光客が集中する商業地。住宅地へも飲食店等を中心とした機能が徐々に拡大する動き。
- ・交通渋滞が激しい。また、歩道におけるバイクや自転車の駐輪も多く、安全快適な歩行の障害となっている。
- ・若宮大路に面する東西の街区の土地利用状況は異なる。

■まちづくりの方針

「古都鎌倉を象徴する都市軸：
風格と賑わいの拠点ゾーン」

- ・歴史を大切にしたい活力ある商業地づくり
- ・安全で快適に歩けるまちづくり
- ・美しく落ち着いたまち並み形成

1 若宮大路の活性化と景観の創出

- 1-1 鶴岡八幡宮前のまちかど広場の創出
- 1-2 共同駐車場の整備（集約・立体化等）
- 1-3 空き店舗再利用への助成
- 1-4 宿泊施設等の誘致と充実
- 1-5 夜も楽しく歩ける夜間景観の創出
- 1-6 オフィス・商業等建築物の上層階への住宅整備
- 1-7 植栽の維持管理の充実
- 1-8 景観のルールづくり（色彩・規模・デザイン等）
- 1-9 東西沿道の回遊の促進

2 「段葛」の保全

3 小町商店街の景観の創出

- 3-1 電線類の地中化
- 3-2 共同駐車場の整備
- 3-3 界隈性の強化、看板・サイン等のルールづくり
- 3-4 舗装の工夫（駅から八幡宮に到る賑わいの変化を表現するための段階的な色調変化、案内サインのはめ込み等）
- 3-5 空き店舗再利用への助成

4 都市計画道路「二楽荘通り」の道路環境整備

- 4-1 歩行者交通に配慮した環境整備
- 4-2 電線類の地中化

5 小町踏切～二の鳥居間道路周辺のまちづくり

- 5-1 道路環境の整備（歩道の整備、横浜銀行西側道路の駅への延伸と舗石整備等）
- 5-2 扇川の再生と親水河川環境の整備
- 5-3 小町踏切の改善

（鎌倉駅東ゾーンの5と同じ）

※：界隈とは、都市的な活動が行われている空間とそこから生まれてくるイメージ、情景、雰囲気等を包含する表現です。たとえば、谷中界隈、元町界隈等。

この資料は、古都中心市街地の地区ごとのまちづくりを検討する素材として作成したものであり、特定用地の土地利用について特段の制約を加えるものではありません。



6 窟小路の道路環境整備

- 6-1 小町通りへの出口部分のまちかど広場創出
- 6-2 舗装の仕上げ等の工夫による歩車道の区分
- 6-3 電線類の地中化
- 6-4 旧川喜多邸の板塀の管理保全

7 聖ミカエル教会北側市道・清川病院北側市道の道路環境整備

- 7-1 歩行者交通に配慮した環境整備
- 7-2 電線類の地中化
- 7-3 清川病院北側市道の地域生活を主体にした交通のあり方の検討

8 鎌倉警察署横市道の道路環境整備

9 共通事項

- 9-1 観光文化資源の保全・活用と案内板の設置（鉄の井・旧川喜多邸・鎌倉清方記念美術館・大佛邸等）
- 9-2 歴史的な路の古称の復活・活用（横小路・小町口等）
- 9-3 鎌倉らしい小径の環境保全・活用（歴史散歩ルートの設定、小径への愛称づけ（鎌倉文士の小径等））
- 9-4 門・塀等の修景整備（生け垣・建仁寺垣の推進等）
- 9-5 看板・サイン等のルールづくり
- 9-6 良好な景観への助成・表彰制度

＜大切にしたいまちづくり資源の一例＞

- | | |
|---------------------|--------------|
| ○段葛の桜並木 | ○神奈川県立近代美術館 |
| ○小町通りの賑わい | ○鎌倉聖ミカエル教会聖堂 |
| ○軒先の小径や路地空間 | ○旧川喜多邸 |
| ○鎌倉文士の邸宅（大佛邸等） | ○川合邸 |
| ○若宮大路の電線類の地中化 | ○鉄の井 |
| ○歴史的景観に配慮した屋外広告物の意匠 | ○鎌倉清方記念美術館 |
| ○鶴岡八幡宮 | |

凡 例

- | | |
|--|-------------------------|
| | 面的なまちづくりが必要な地区 |
| | 道路と沿道敷地の一体的なまちづくりが必要な地区 |
| | 歩道の設置などが必要な道路 |
| | 重要と思われるまちづくりポイント |
| | 大切にしたいまちづくり資源の一例 |